

令和4年3月28日

関係各位

学校法人 興國学園
興國高等学校
学校長 草島 葉子

本校教員の「不起訴処分」に関するご報告

拝啓 春暖の候 皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2月18日に本校教員2名が書類送検された件ですが、検察庁の判断で両名は不起訴処分となったとの報告を受けました。この度は、ご関係の皆様方に多大なるご心配とご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

本件は、校内で発見された大麻キッドを、警察に届け出ることなく上記教員2名が校内で保管していたという事案です。教員らとしては、大麻を使用していた生徒を学校が警察に突き出す形になることは教育的配慮から相当でないと考え、生徒に対し自主的に警察へ出頭するよう促したうえで、当該キッドを校内で保管していたとのことです。しかしながら、当該キッドには大麻が含まれる可能性が高いものであり、これを校内に保管し続けることが適切でなかったことは明らかです。そして何より、警察から大麻キッドの所在について聞かれた際、気が動転したため即座に所在を伝えることなく曖昧な回答をしたことは、警察に不信感を抱かせるに足りる極めて不適切な行為でありました。本校としても、こうした不適切な行為があったことを重く受け止め、教員両名に対し厳正な懲戒処分を行っております。また、副校長から本件の責任を取る形で本校を退職したいとの申し出があり、本学園はそれを受理いたしました。

捜査中は、捜査に影響を与えてはいけないとの観点から、情報発信を最小限にとどめておりましたが、本校教員らが校内で発見された大麻キッドを校内で保管することになったのは、上記のとおり教育的配慮が第一であったのであろうことは申し上げておきたいと思っております。報道では、生徒が大麻を吸っていたことを隠蔽するため、というのが主たる動機であったかのように言われておりますが、それでは生徒に警察への出頭を促したと整合しないのではないかと思います。

もちろん、当該教員の行為が不適切であったことは間違いのないことであり、その点は幾重にもお詫び申し上げます。今回の事態を受けて本校は深い反省に立ち、昨秋から校内で検討を進めて大阪府警と相談しながら昨年12月に施行しました「大麻及び違法薬物対策基本方針」に基づき、校内にて全教職員ならびに全校生徒を対象に様々な研修を積み重ねました。今後も、学園にとって何よりも大切な生徒一人ひとりの未来のために、全教職員一丸となって違法薬物の撲滅に尽力してまいります。また、校内で大麻リキッド等を発見した時の対応についても教職員に徹底しており、二度と同じような過ちのないよう努めているところです。

先日卒業した卒業生達には、卒業式当日に本件が報道される事態となり、本当に可哀想なことをしてしまいました。卒業生らは、本校での3年間を通じて蛍雪の功を積み、それぞれが次の目標に向けて歩みだしてくれました。高校3年間の彼らの成長ぶりに胸を撫でおろすと共に、今後も日本社会のために大いに貢献・活躍してくれることを期待しております。

また、このような状況にも関わらず、合格した専願者全員を含む、例年を上回る多くの新入生が無事に入学手続きを済ませ、令和4年4月の入学に向けて胸を弾ませて本校での高校生活を楽しみにしてくれております。新入生の皆さんと保護者の皆様方には本校の教育活動に深いご理解をいただき、心より感謝申し上げますと共に、その期待を裏切ることなく、全力を尽くす所存です。

この間、各方面から励ましのお言葉や心温まるお手紙を多数頂戴し、またご関係の皆様方のご対応に多くのことを学ばせていただき、万感胸に迫る思いでございます。来たるべき創立100周年に向けて、今回の件も糧にして、生徒たちや保護者の皆様方と共に本学園は尚一層邁進してまいります。

今後とも皆様方からの変わらぬご厚情を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 具